

全国の活動紹介

東京発 3・11を忘れないで



読み聞かせをする鶴岡みどりさん

東日本大震災の発生から今年で12年。3月12日、東京都八王子市内で活動する「わくわく紙芝居サークル」の皆さんが、災害の記憶を風化させたくない、中央本部オリジナル紙芝居『つなみのひ』を実演してくださいました。

本作は、実際に被災地取材し製作。非常時におけるコミュニケーションや、協力し合うことの大切さを伝える紙芝居です。コロナ禍を経験し、不安や恐怖に負けることなく、相手を思いやることの大切さを実感した方も多くは、

地域のイベントで行われた読み聞かせでは、たくさん親子が真剣なまな



山口先生(左)よりコロルーク司祭へ、子どもたちが折ったウクライナカラー(青・黄)の千羽鶴が贈られました。

クライナの自然の豊かさ、望郷の想いを見事に表現。その歌声は動画サイトなどで世界中に広がり、ウクライナの人々からもたくさん感動メッセージが届きました。

キリスト教信者の迫害や原爆投下の悲しみを経て、平和への祈りの地となった長崎。コロルーク司祭は、この地での出会いに特別なものを感じ、今後も交流を続けたいと語っています。その出会いのきっかけが「小さな親切」

読者PRESENT

工作教室など、中央本部の活動にご協力いただいている有賀忍先生が生んだ大人気キャラクター「こなこいるかな」の絵本を、5名様にプレゼントします。

応募方法：「氏名」「住所」「年齢」「本誌の感想」をご記入の上、FAX(03-3263-3838)または応募フォームより応募ください。

締め切り：2023年6月23日(金)必着。
当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



応募フォーム

さしでお話を聞いてくれました。紙芝居「つなみのひ」と、その続編『まじりのひ』は、「小さな親切」運動チャンネル(<https://www.youtube.com/@smallkindness1963>)と日本語・英語の動画を公開中。また、教育専門WEBサイト「てらこあん」(<https://www.kindness.jp/kids/>)では紙芝居データのダウンロードもできますので、ぜひ活用ください。

福岡発

40周年記念・ 標語コンクール開催

くめる「小さな親切」運動の会(事務局：筑邦銀行)は、昨年度40周年を迎え、記念事業として標語コンクールを開催しました。応募総数は、小学生から一般の方まで418編。テーマは「小さな親切」のほか、「まちの美化」「あいさつ」「お年寄りを大切に」「きずな」です。優秀作品の一部をご紹介します。

【同会会長賞・最優秀作品】
あいさつは 受けてうれしい
おくりもの (一般・池田貴史)

【久留米市長賞】
大じょうぶ? 親切のことは
気づくこと(荒木小3年・古賀瑛人)

●おはようで 心のけんおん いじょうなし (津福小5年・井上結新)

だった、というのが嬉しいですね。同キッズコーラスの皆さんへの「小さな親切」実行章贈呈の様子は、当運動のfacebookをご覧ください。

お知らせ

■県本部新代表
徳島県本部代表 長岡 奨
(阿波銀行 代表取締役会長)

■寄附者(芳名(敬称略・順不同))
青森銀行/山形県本部/奈良県本部/山形県長井「小さな親切」の会、酒田「小さな親切」の会、高畠「小さな親切」の会、寒河江「小さな親切」の会、新庄「小さな親切」の会/千葉県御宿支部/福井県敦賀支部/長崎支部/群馬県 片亀歳晴



創立60周年記念「未来へつながる心づくり寄附金」申込書

2023年 月 日

氏名 (ふりがな)	年齢 歳
団体・法人名	担当者名
住所 〒	
連絡先 TEL	FAX
E-mail	
寄附金額 円	振込先 みずほ銀行 九段支店 普通預金口座 1298186
(振込予定日 月 日頃)	チャ) チイサ ナ シンセツ ウンドウホンブ キフ キンクチ 公益社団法人「小さな親切」運動本部寄附金口
会員の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 印をつけてください) <input type="checkbox"/> 会員 (会員番号:) <input type="checkbox"/> 非会員 寄附者の情報 (氏名・都道府県名) の本誌への掲載について (<input checked="" type="checkbox"/> 印をつけてください) <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	

ご寄附いただいた皆様には、毎年2月発行の作品集(作文コンクール&はがきキャンペーン合併版)をご寄贈申し上げます。

【趣 旨】 今年度、創立60周年を迎えるにあたり、「できる親切はみんなでしよう、それが社会の習慣となるように」をさらに目指し、みなさまの寄附金で運動の輪を広げてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

【募集期間】 令和4年4月1日～令和6年3月31日

【申込方法】
1 本申込書にご記入の上、
FAX: 03-3263-3838
 へお送りください。
2 スマホやPCからも申し込みできます。



北海道発 あいさつの響く学校に

●あいさつで 結ぶ人の和 地域の輪 (一般・池田博子)

函館支部(事務局：北南機設機)より、あいさつ運動活動グッズ(のぼり、たすきなど)を提供した小学校2校より、活動報告が届きました。

函館市立深堀小では、子どもたちが企画し、全校集会でロールプレイングをしたり、学校創立50周年キャラクター「ふかりん」と一緒に活動するなど、良いあいさつができるよう工夫しました。



オリジナルキャラクターと一緒に(深堀小)



下校時のあいさつ運動(えさん小)

えさん小では、これまでの朝のあいさつ運動を見直し、下校時に低学年に向けてあいさつをするようにしたところ、児童会メンバーや高学年の子ども

たちが良いお手本となり、低学年児童も徐々にあいさつができるようになりました。校内に明るいあいさつが響くよう、様々な工夫をする子どもたちが頼もしいですね。今後の活動も大いに期待しています。

長崎発

子どもたちの親切がつないだ 平和への祈り

ウクライナ正教会の日本で唯一の司祭、ポール・コロルークさん(東京都在住)は昨年8月、初めて訪れた長崎の路面電車の中で、小学生に席を譲ってもらいました。子どもたちが地元の合唱団「長崎居留地キッズコーラス」のメンバーと知り、その後コロルーク司祭が演奏会に行ったことから交流がスタート。同キッズコーラスでは戦禍のウクライナを想い、ウクライナ語の歌の練習を始まりました。

日頃から、山口昌子先生(長崎市立大浦小)の指導のもと、歌詞の意味を理解し、背景を想像する大切さを教わってきた子どもたちは、歌に込められたウ

キッズコーラス